



湖西市

白須賀第2地区防災計画

令和8年2月策定

命を守るための津波避難訓練を実施

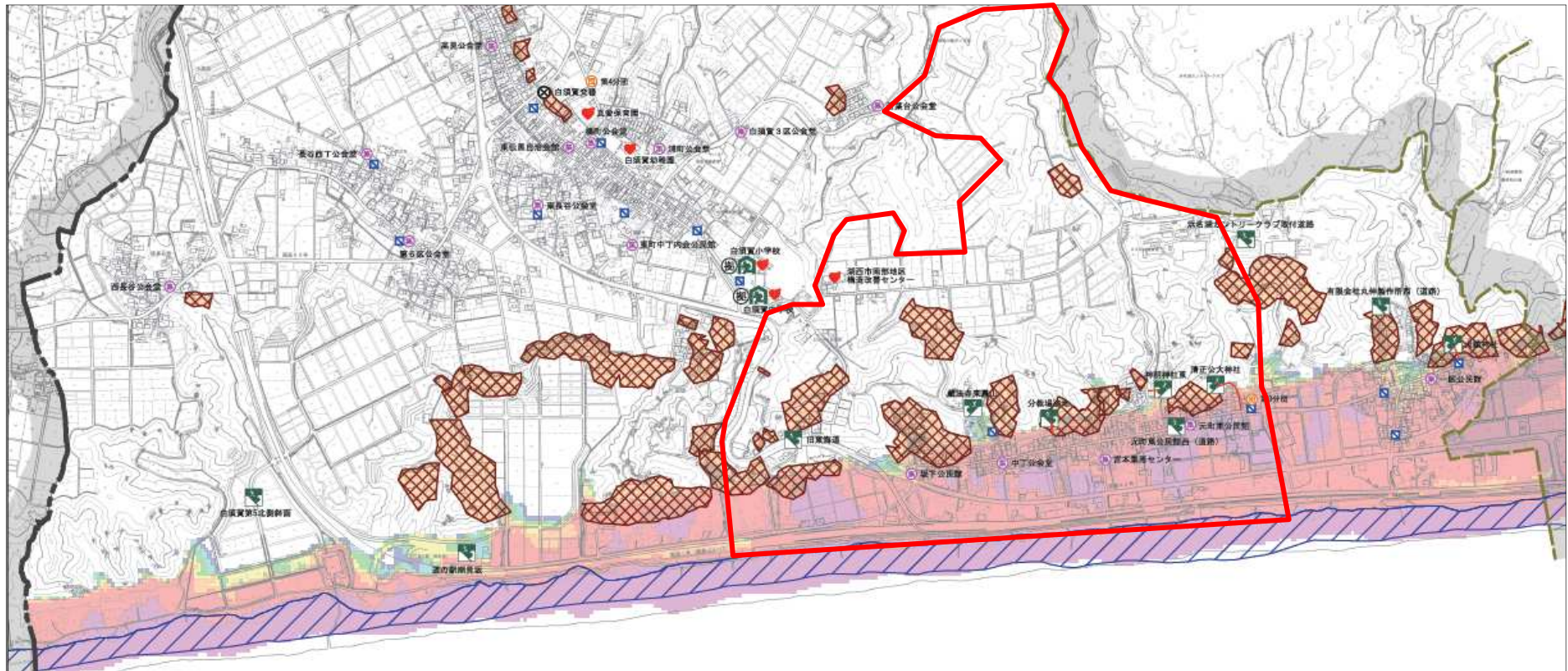
～土砂災害リスクを想定した複数の避難路の検討～

- 目 次 -

1. 計画の対象地区の範囲・計画の策定主体	1
2. 基本的な考え方	2
(1) 基本方針（目的）	
(2) 活動目標	
(3) 活動計画（年間）	
3. 地区の特性	3
(1) 自然特性	
(2) 社会特性（地域災害史）	
(3) 災害特性	
①地震（a. 震度分布、b. 液状化、c. 津波被害）	
②土砂災害	
③水害（河川氾濫）	
(4) 防災マップ	
4. 防災活動の内容	15
(1) 防災活動の体制	
(2) 平常時の活動	
(3) 発災直前の活動（風水害時のみ）	
(4) 災害時の活動	
(5) 復旧・復興期の活動	
(6) 市、消防団、各種地域団体等との連携	
5. 実践と検証	17
(1) 防災訓練の実施・検証	
(2) 防災意識の普及啓発	
(3) 計画の見直し	
6. 意見交換会の概要	18
7. 参考資料	26

1. 計画の対象地区の範囲・計画の策定主体

- 計画の対象地区の範囲：白須賀第2自治会 ※世帯数：226世帯、人口：514人（令和7年11月末現在）
- 計画の作成主体：白須賀第2自主防災会



出典：湖西市ハザードマップ

2. 基本的な考え方

(1) 基本方針（目的）

- ・ 命を守るための津波避難訓練を実施
～土砂災害リスクを想定した複数の避難路の検討～

(2) 活動目標

- ・ 津波到達時間までに確実な避難ができるように訓練を継続して実施
- ・ 地域住民の積極的な訓練参加
- ・ 若い世代が訓練に参加してもらえるような工夫
- ・ 避難場所（経路）の土砂災害リスクを認識し、複数の避難場所（経路）を想定
- ・ 地域住民の防災意識の醸成と共助の関係性の構築
- ・ 要配慮者（高齢者や障がい者等）に対する避難支援の検討
- ・ 白須賀地区全体としての防災意識向上に係る取組みの推進

(3) 活動計画（年間）

- ・ 年3回防災訓練を実施
 - 総合防災訓練：9月1日（防災の日）
【実施内容】津波避難訓練、炊き出し など
 - 地域防災訓練：12月第1日曜日（静岡県・地域防災の日）
【実施内容】津波避難訓練、炊き出し、簡易トイレの組み立て
応急手当訓練、消火訓練（水消火器）、など
 - 夜間防災訓練：3月11日（東日本大震災発生日）
【実施内容】津波避難訓練 など
 - 倉庫点検（定期的実施）
 - ・ ①4月、②6月、③8月、④10月、⑤11月、⑥3月

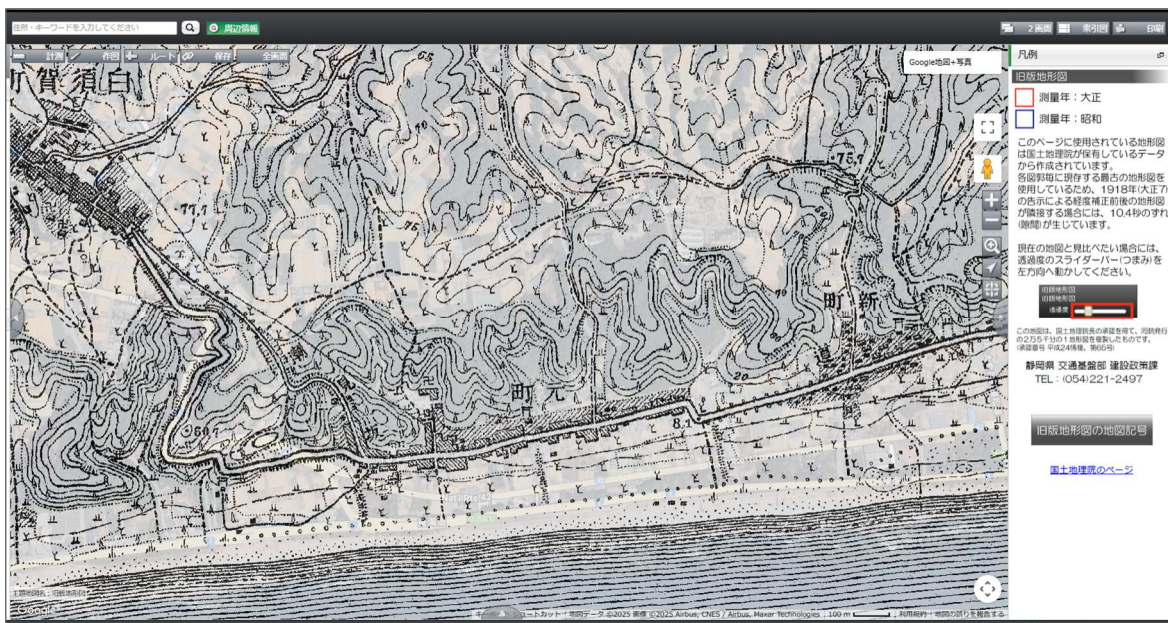
3. 地区の特性

(1) 自然特性

- ・ 南は海（遠州灘）に面していて、北は山がある。
- ・ 北に高台（山）があるため、津波から逃れる避難場所はあるが、土砂災害のリスクもあり、複数の避難場所や避難経路を事前に想定することが重要となる。



出典：静岡県 GIS（地質情報）



出典：静岡県 GIS（旧版地形図（大正測量））

(2) 社会特性

- ・ 少子高齢化が進行していて、高齢化率は60%程度。

<地域災害史>

白須賀宿

海岸付近にあった元の白須賀宿(現在の湖西市元町)には、1,498年の明応地震津波や高波で全村流出し7人の者が坂の上に移住したとの言い伝えがあります。また、1,605年の慶長地震津波では「津波が宿に流入し、人は溺れ、山に逃げたもののみ助かり牛馬は死んだ」と林羅山が当時の白須賀宿の主人に聞いた話としての記録が残っています。(羅山先生文章) 1,707年の宝永地震津波などによって段丘の下・海岸沿いにあった「宿場」は大きな被害を受けたため、宿場は、1,708年に江戸幕府からの助成を受け現在の台地の上に移転しました。



出典：静岡県 GIS (地域災害史)

長谷元屋敷遺跡

長谷元屋敷遺跡は、汐見坂より西側の海浜沿いにあります。波打ち際から 150m 入った海拔 5~6m の砂浜に村がありました。1707 年宝永地震 M8.6 の津波で被害を受け、吉田藩からの借入金を得て台地上の今日の長谷に移転しました。長谷元屋敷遺跡の調査により「古文書」・「伝承」による地震津波とともに、さらに古い津波や高潮の痕跡が科学的にも解明されてきています。



出典：静岡県 GIS（地域災害史）

(3) 災害特性

・詳細は「湖西市津波防災地域づくり推進計画」で確認。

※市ウェブサイト公開

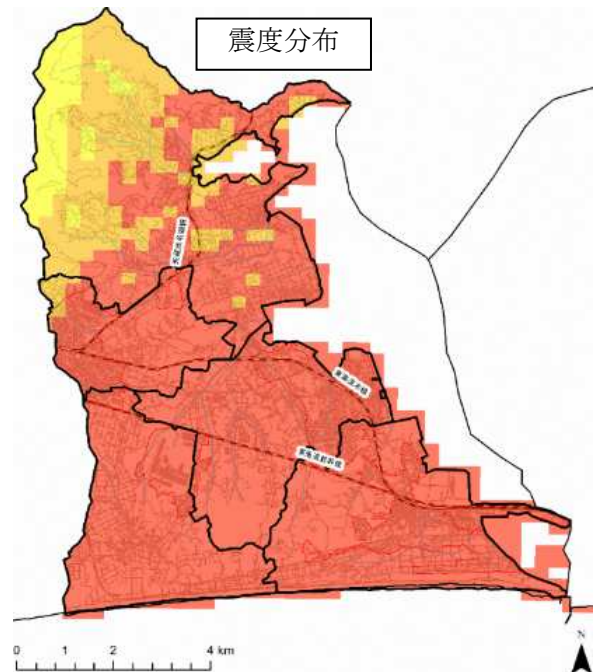
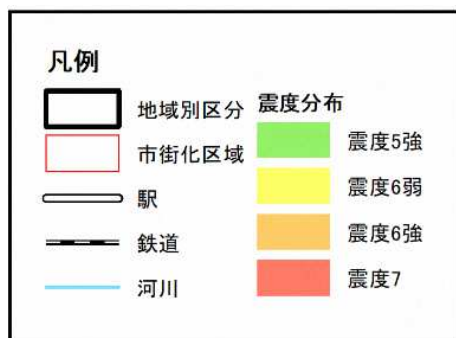


◀詳しく
はこちら

①地震

a. 震度分布

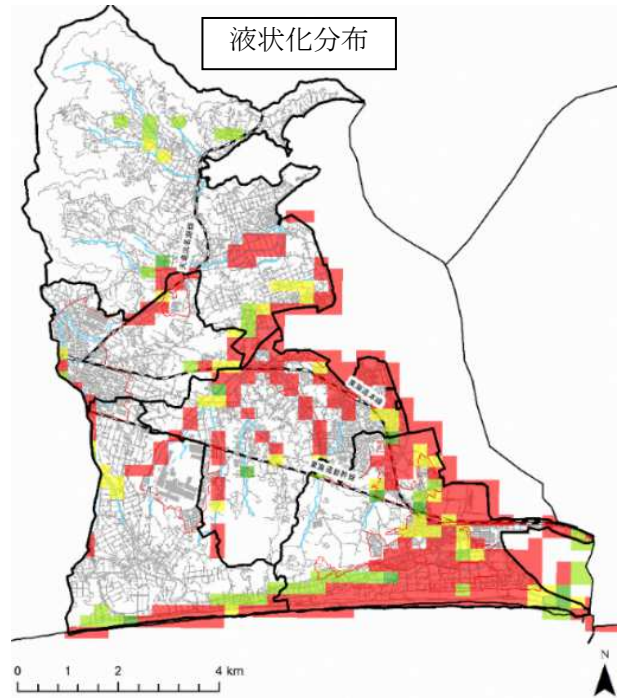
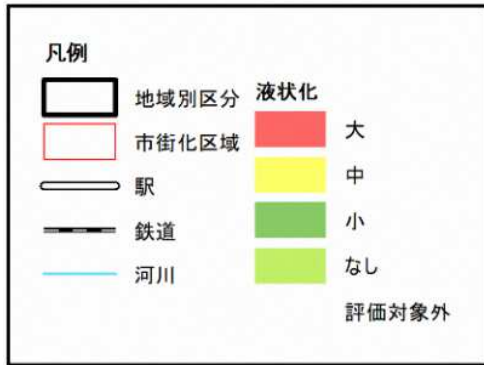
本市では広い範囲で震度7の揺れが想定される。



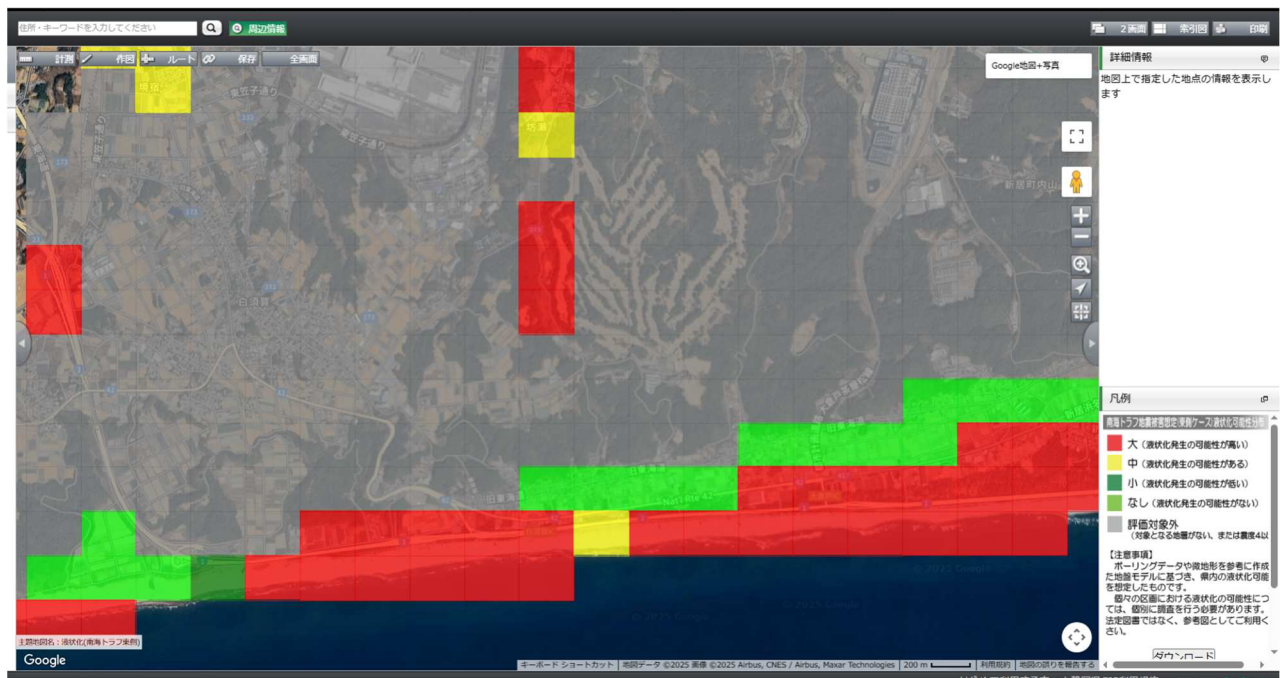
出典：国土数値情報、市データ

b. 液状化

地区の液状化の可能性は「大」。



出典：国土数値情報、市データ



出典：静岡県 GIS (液状化)

c. 津波被害

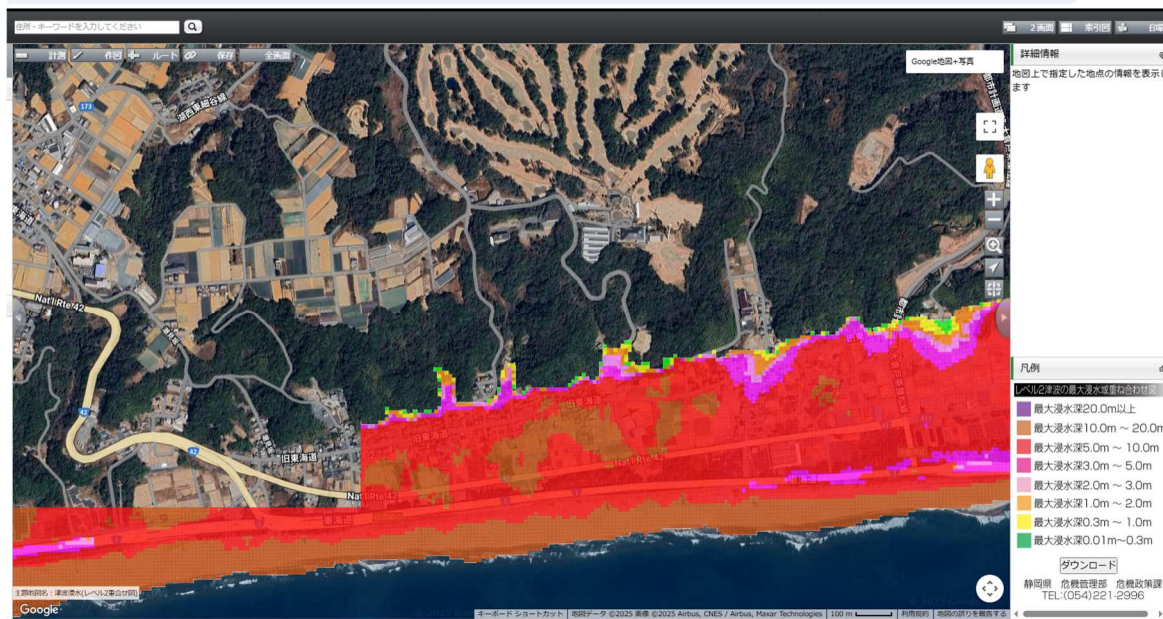
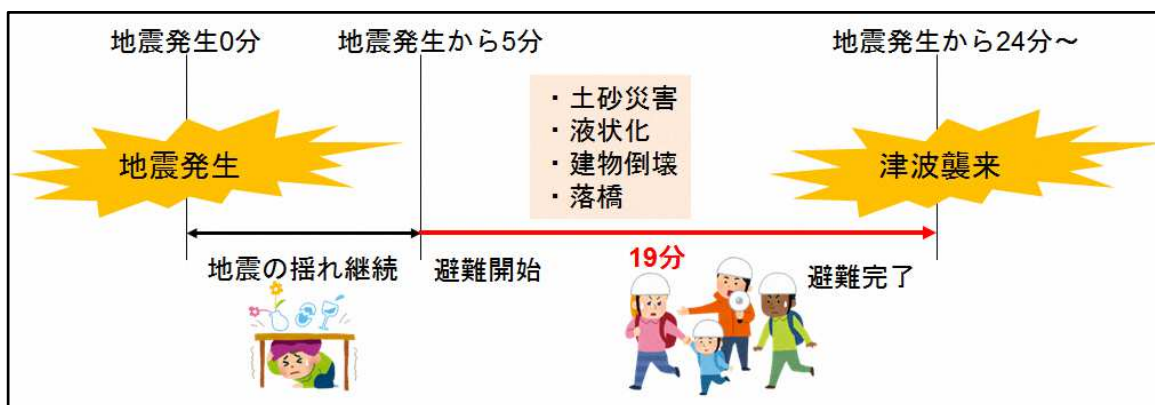
■ 南海トラフ巨大地震による津波被害①（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）

駿河湾から遠州灘にかけて、沿岸地域で地震による隆起で津波が発生し、湖西の海岸に短い時間で津波が到達します。津波到達時間として、地震発生後 24 分で沿岸部の既存堤防・バイパスを越えると想定され、**地震発生から 5 分ほど揺れが継続するため、19 分間で避難を完了**する必要があります。

本市沿岸の津波の到達最短時間（上段：沿岸津波高、下段：到達時間）

+ 50 cm	+ 1m	+ 3m	+ 5m	+ 10m (堤防越流)	+ 15m (最大津波)
7 分	9 分	13 分	23 分	24 分	28 分

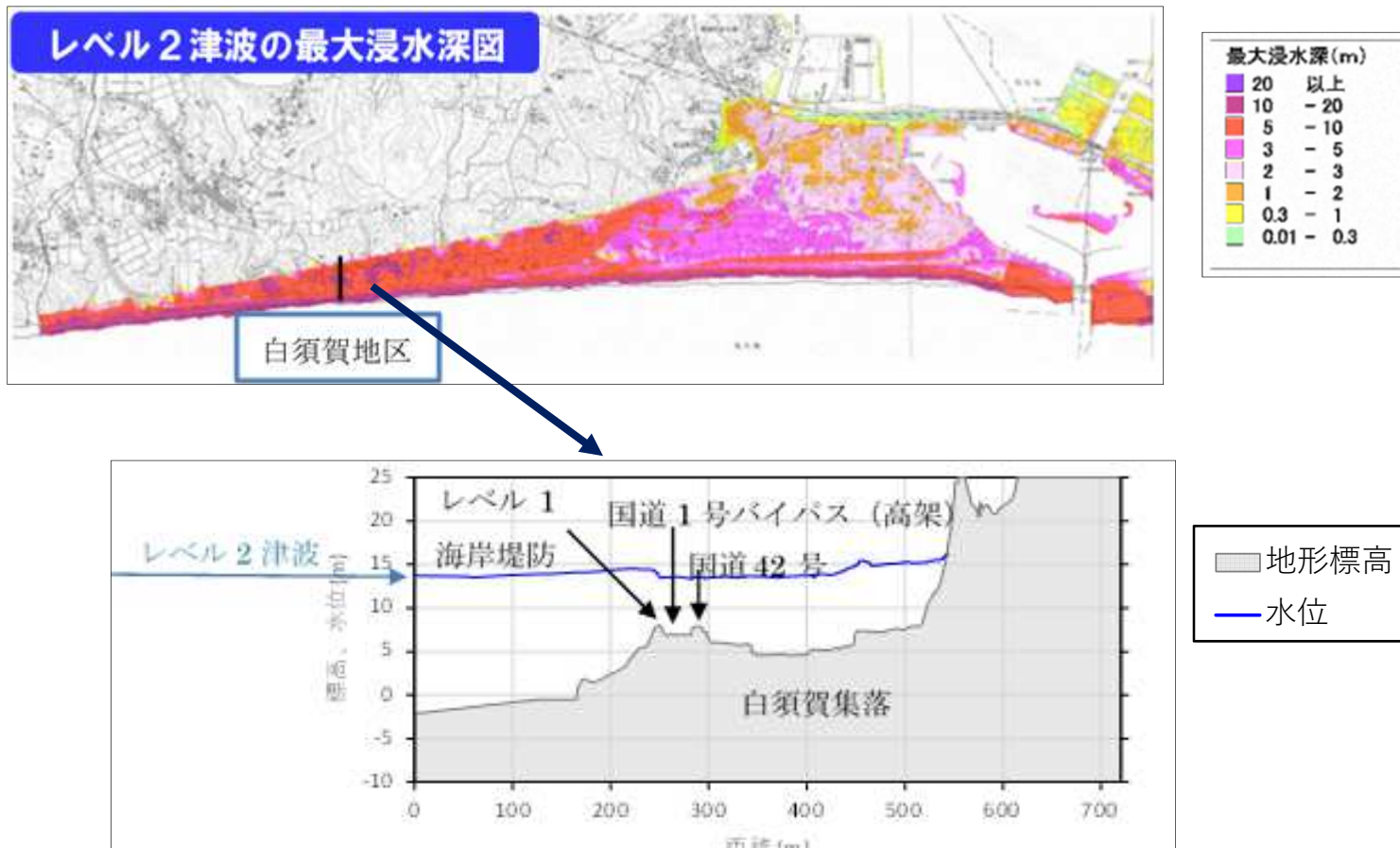
出典：静岡県第 4 次地震被害想定（第一次報告）（平成 25 年 6 月）



出典：静岡県 GIS（静岡県第 4 次地震被害想定（津波浸水））

■ 南海トラフ巨大地震による津波被害②（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）

静岡県第4次地震被害想定津波シミュレーション結果では、本市におけるレベル1津波は最大7m、レベル2津波は最大15mと想定されています。遠州灘からレベル1海岸堤防を乗り越えて市街地側に進入したレベル2津波は、白須賀地区において減衰せず集落をのみこみ、山にぶつかります。



レベル2津波による湖西市沿岸域（新居地区）の浸水状況断面図

■ 本市沿岸域の現状①（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）

沿岸域の現状は、海岸（浜名港海岸新居地区・新居海岸・湖西海岸）と海岸防災林（保安林）の間に国道1号バイパス（浜名バイパス・潮見バイパス）が整備されています。沿岸域において、既に国道1号バイパス海側に**レベル1津波に対する海岸堤防が整備済み（TP+8.0）**ですが、レベル2津波は、国道1号バイパスを乗り越えるほか、バイパス高架区間を通り抜けて、市街地側に侵入します。



■ 本市沿岸域の現状②（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）



②土砂災害

地区内に複数の土砂災害警戒区域があり、津波の避難場所が区域に該当している箇所がある。



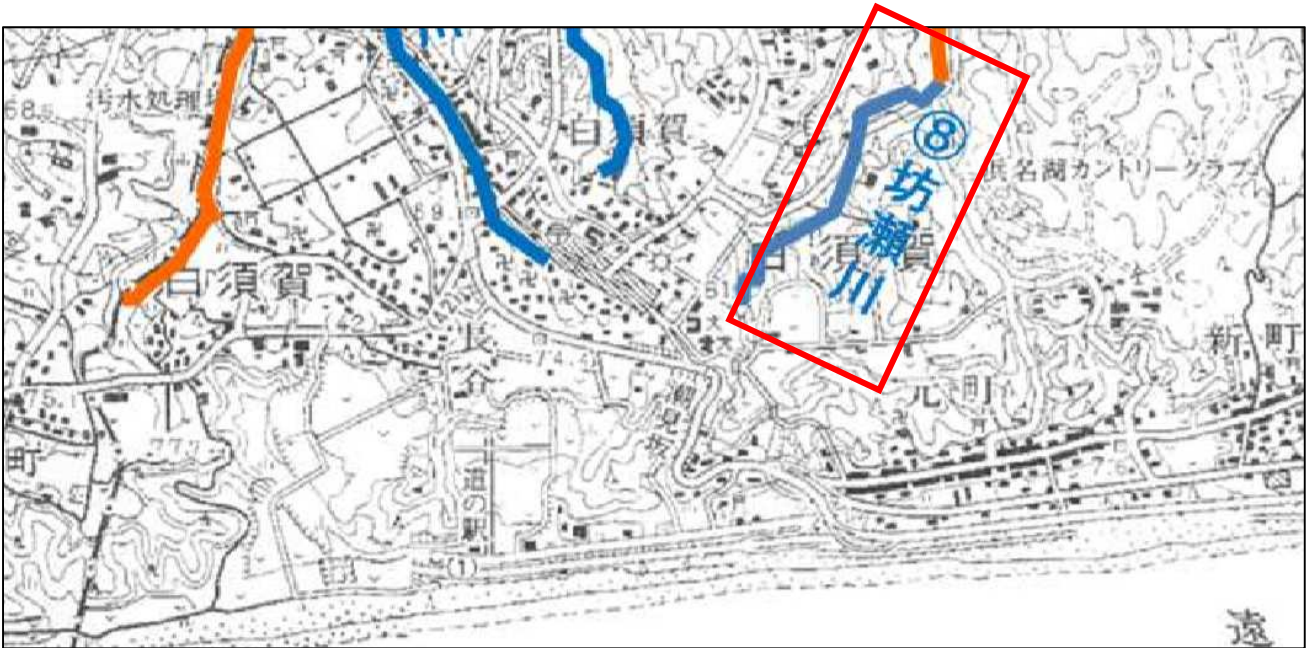
出典：国土数値情報、市データ



出典：静岡県 GIS（土砂災害（特別）警戒区域）

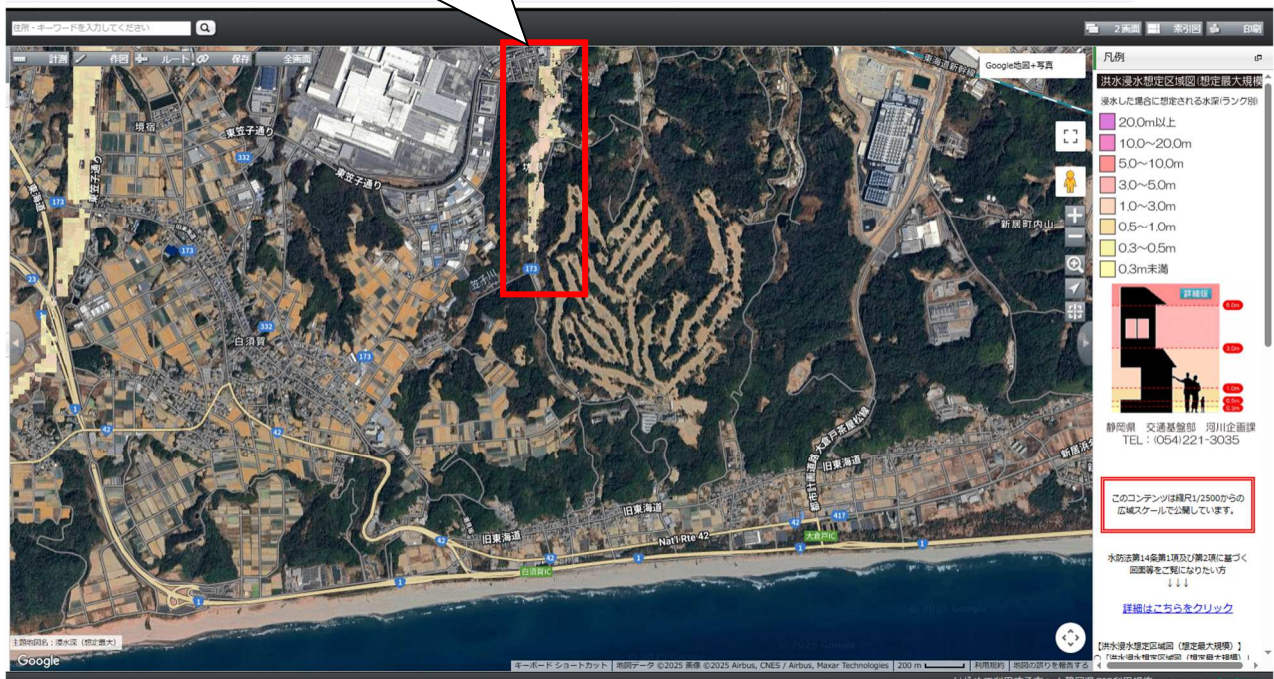
③水害（河川氾濫）

準用河川の「坊瀬川」が地区の北部を流れている。



出典：湖西市地域防災計画

坊瀬川は洪水浸水想定区域が県により指定されている。



出典：静岡県 GIS（洪水浸水想定区域）

(4) 防災マップ

指定避難所：白須賀小学校

津波避難場所：高台（複数箇所）



出典：湖西市ハザードマップ

4. 防災活動の内容

(1) 防災活動の体制

役 職	町内	氏 名	電話番号	住 所	備 考
自主防災会長	元町東			白須賀	年目
副会長	宮本			白須賀	年目
自主防災代表委員	汐見坂			白須賀	年目
自主防災委員	元町東			白須賀	年目
	宮 本			白須賀	年目
	元町中			白須賀	年目
	坂 下			白須賀	年目

(2) 平常時の活動

<自助に関する活動>

- ・ 自宅の耐震化や家具固定など、家庭内における危険個所の確認と改善
- ・ 食料・飲料水、簡易トイレ等の日用品の備蓄 (※1週間分が望ましい)
- ・ 非常持ち出し品の用意
- ・ 津波避難場所・指定避難所の位置と経路の確認
- ・ 避難経路の閉塞を考慮し、津波避難場所まで複数の避難経路を検討
- ・ 家族同士の安否確認方法の決定・共有
- ・ 情報収集と通信手段確保 など

<共助に関する活動>

- ・ 自主防災組織における防災活動体制作り
- ・ 要配慮者(高齢者や障がい者)に関する情報収集と避難支援の検討
- ・ 地域における防災人材の育成(若い世代の参加を促進)
- ・ 地域住民への防災情報の周知
- ・ 津波避難訓練の継続的な実施
- ・ 防災倉庫の整備・管理、備蓄品の充実
- ・ 災害時の危険箇所の点検、指定避難所・避難経路等の確認 など

(3) 発災直前の活動(風水害時のみ)

- ・ 災害種別や警報、避難情報の度合によって、どのような動きをするべきか事前に確認・想定しておく

(4) 災害時の活動

<住民の避難行動の流れ>

- ・ 強い揺れが収まったらすぐに避難(強い揺れを感じなくても「津波注意報」や「津波警報」、「大津波警報」が発表されたら避難)

(自分自身の安全確保)

- ・ 同報無線、防災ほっとメール、テレビ、スマホ等で正確な災害情報を入手

(近隣の安全確認)

- ・ 自らの命を最優先に隣家への声掛け(特に要配慮者(高齢者、障がい者等))

(津波避難場所に避難)

- ・ 非常持ち出し袋を持って津波避難場所に避難

※避難に支障が少なそうな避難経路をあらかじめ複数想定

(安否確認)

- ・ 家族、地域住民の安否確認

(5) 復旧・復興期の活動

- ・ 避難所運営を他地区と協力して行う。
- ・ 被災状況によっては、長期に渡る避難所生活が強いられる場合があるため、炊き出しや支援物資の運搬など、地域で協力して復旧・復興に向けた活動を行う。

(6) 市、消防団、各種地域団体等との連携

- ・ 市の関係部署、消防団、各種地域団体等との連携・協力は重要になるため、事前の関係構築に努める。
- ・ 地区内で、協力や活躍の期待される事業者がいないか確認する。

5. 実践と検証

(1) 防災訓練の実施・検証

- ・ 現状の津波避難訓練等を継続的に実施し、今後、本計画の内容を実行するためにどのような改善や新たな取組が必要となるか検討する。

(2) 防災意識の普及啓発

- ・ 防災を考える上で、自助としての個人の備えが重要となるため、地域住民の防災意識の普及啓発に努め、地域でできることを話し合う。

(3) 計画の見直し

- ・ 計画は作成するだけでなく、定期的に見直すことが重要。年に1回を目安に計画の内容を見直す。

6. 意見交換会の概要

意見交換会の実施 令和7年10月26日（日）開催

地域防災指導員による防災出前講座を活用した意見交換会を開催し、南海トラフ地震の概要や湖西市の被害想定、自主防災組織の役割を理解していただいた上で、DIG（災害図上訓練）を実施しました。

地区における防災の強み・弱みについて考えていただき、その課題に対して共助（地域の助け合い）の取組として何ができるか、グループワーク形式で意見を出し合いました。



意見交換会（宮本集落センター）

<地域防災指導員による防災出前講座>

白須賀第2地区自主防災会

防災出前講座

1. 地区防災計画策定について
2. 災害図上訓練DIG

令和7年10月26日 湖西市地域防災指導員連絡会



<出前講座の内容①>

自主防災会の役割

災害発生時

地区防災計画策定

自分たちのまちに災害が起きることを想定し、自分たちの地域の人命や財産を守るため、日頃の準備や災害時の自発的な行動について、一定地区内の居住者の方々で作る計画です。

- ① 地域特性の把握
- ② 対策の検討
- ③ 地域防災計画への落とし込み
- ④ 検証と見直し

今回は「① 地域特性の把握」

目的：地域の強み、弱み、課題等の洗い出し
 手段：DIGを活用
 ふりかえりシートにまとめる

タイムスケジュール

① DIGの概要説明	5分
② 地図への書き込み	20分
③ グループ討論	20分
④ 成果発表・討議	15分

災害図上訓練 DIG

令和7年10月26日
 白須賀第2地区自主防災会 湖西市地域防災指導員連絡会

災害図上訓練 DIGとは？

大きな地図を囲みながら、
 参加者全員で地域の防災対策などを考える訓練

Disaster (災害)
Imagination (想像)
Game (ゲーム)

の3つの頭文字を取って**DIG**と名づけられました。

机の上にあるもの

- ・ 地図 地域の白地図
- ・ 文房具類
 - 油性ペン ドットシール(大小多数)
 - 付箋 ふりかえりシート
- ・ 記入をするための資料
 - ハザードマップ 書き込み用の凡例
 - 液状化分布図

地図への書き込み STEP1

《 地域の構造を知る地図の作成 》

海、河川、湖沼	青	
鉄道	黒	
主な道路(国道・避難道)	茶	
一時避難場所(津波避難施設等)	○	
避難所	●	
安全が守れる公園・グラウンド等	■	

<出前講座の内容③>

地域の白地図



地図への書き込み STEP2

《 地域で予想される被害を知る地図の作成 》

「ハザードマップ・液状化分布図の情報より」

- 津波の危険予想地域 薄青で網掛け
- がけ崩れの危険予想地域 オレンジで網掛け
- 液状化が予想される地域 ピンクで網掛け

地図への書き込み STEP3

《 災害時危険と想定される地図の作成 》

- 災害により使用できない恐れのある道路・橋 黒×印
- 延焼火災の危険予想地域 赤色で網掛け
- 孤立が予想される地域 黄色で網掛け
- 被害を受ける恐れのある建物（空家等） 赤色のドットシール大
- 道路で危険が予想される場所（自販機・ブロック塀等） 赤色のドットシール小

※ 特に、地元民だからこそわかる危険箇所を重点的に
 ※ どんな危険や課題があるかを付箋でメモ

グループ討論

地域特性の把握

- ① 地区で予想される災害
- ② 地区の強み、弱み
- ③ 防災上の課題
- ④ 共助として何が出来るか

約束ごと：
 ・他人の意見を批判しない
 ・質より量
 ・意見のタダ乗りOK

を、できるだけ

- ・数多く
- ・具体的に ふりかえりシートにまとめる
- ・箇条書きで

地図への書き込み STEP4

《 災害発生時に役立つ地図の作成 》

- 役所・公民館・消防署・警察署「防災倉庫・機材倉庫」
- 防火水槽「消火栓」
- ガソリンスタンド
- 空き家
- 病院・救護所
- 食料品店（スーパー・コンビニ等）
- 独居・要支援者
- その他必要なコメントは付箋へ記入して貼り付ける

成果発表・討議

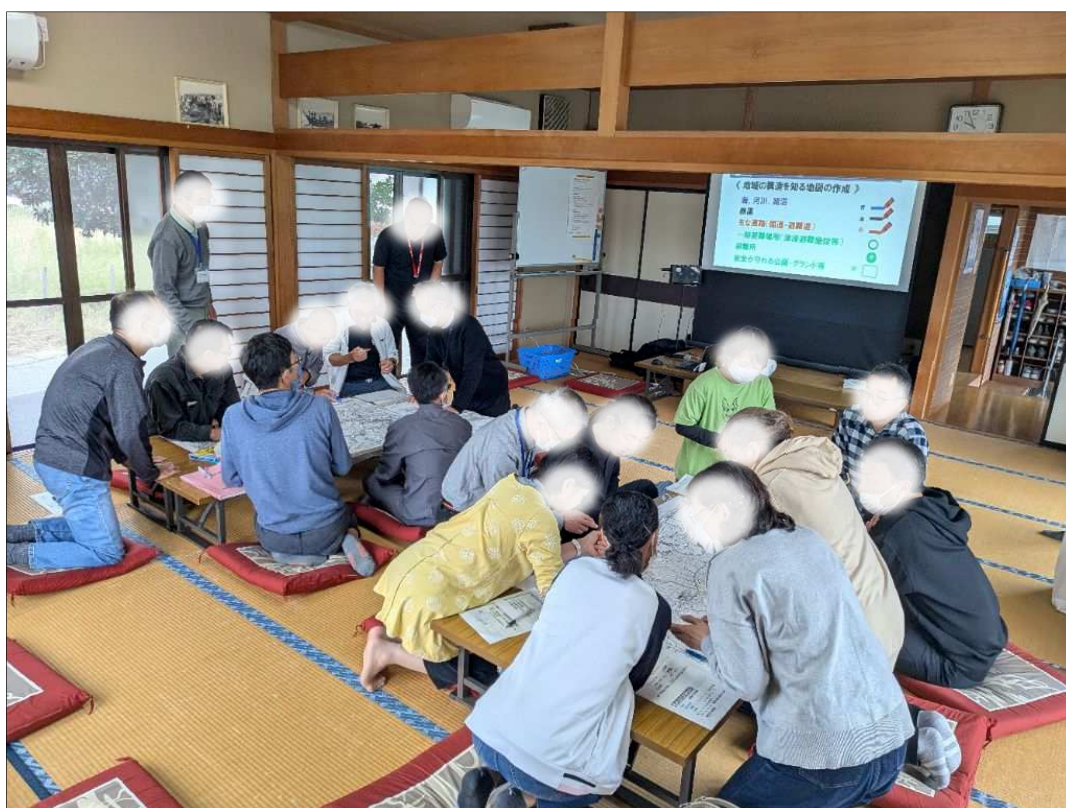
ふりかえりシートを元に、グループ毎に発表。

- 但し、
- ・書かれたことをただ読み上げるだけではなく、
 - ・特に重要と思うこと、独自性が高いと思うことを中心に
 - ・できるだけストーリー性をもって

発表ごとに質疑応答タイム

- ・疑問点、賛成意見、考慮すべき点、深掘り意見 など

<出前講座における意見まとめ>



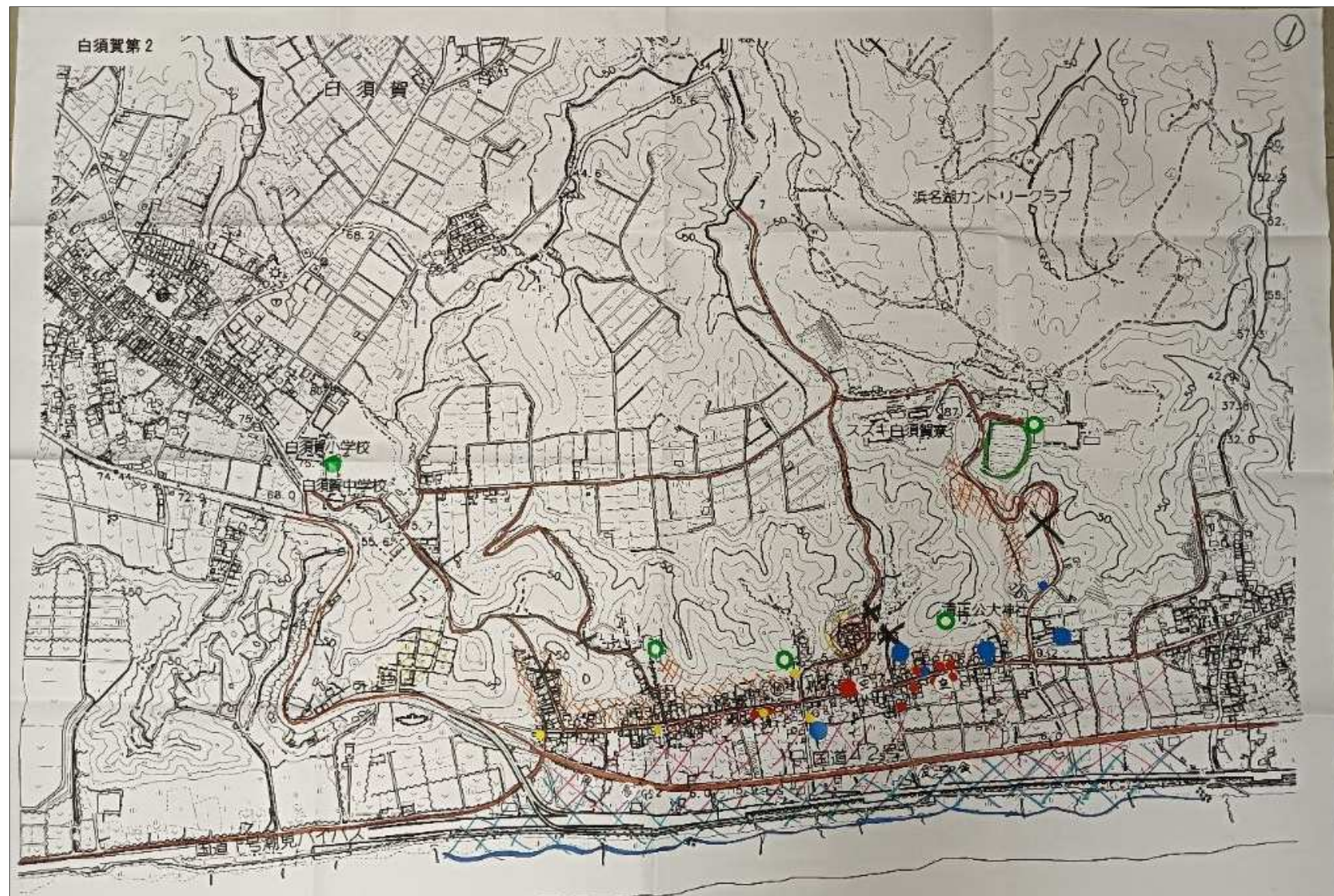
<グループ①>

① ふりかえりシート 地区防災計画策定用 実施日 2025. 10. 26 地区 白須賀小 2 グループ 元町隊、宮本	
① 大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？ 津波、土砂災害、液状化、火災、土が、道路寸断 けが人、津波の抜け道がない。	② 地区固有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？ 【強み】 高台が多い、防災意識が高い、地域のつながりが強い、おいっしょが出来る 外国人の方と仲が良い、オリーブクラブがある。道の駅がある。
③ それらに対する防災上の課題はなんですか？ 津波避難タワーが必要、安全な避難経路が必要、 避難所まで遠い、防火上建が必要、 高齢者の避難、避難所ペットのあつが。	④ 課題に対して、共助として何ができますか？ 声かけをする。 要介護者の確認をする。 体制作り。(集まって話し合い)

<ふりかえりシート>

大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？ ・ 津波、土砂災害、液状化 ・ 火災、家屋の倒壊（非耐震化）、道路寸断
地区特有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？ (強み) ・ 高台が多い、防災意識が高い ・ 地域のつながりが強い（挨拶ができる）、外国籍の方と仲が良い ・ 浜名湖カントリークラブがある（災害時に協力が得られる） ・ 道の駅がある（人がいる、飲食物がある） (弱み) ・ 海が近い、土砂災害の危険性がある ・ 避難路が閉塞する可能性がある、若者が少ない ・ 古い家が多い、空き家が多い
それらに対する防災上の課題は何ですか？ ・ 津波避難施設（タワー）や防潮堤が必要 ・ 安全な避難経路の整備が必要、指定避難所（白須賀小）まで遠い ・ 高齢者（避難行動要支援者）の避難支援、避難所におけるペットの取り扱い
課題に対して、共助として何ができますか？ ・ 日頃からの声掛け ・ 避難行動要支援者の確認 ・ 避難体制の構築（地域で集まっての話し合い）

<グループ①（白地図への災害リスク等の書き込み）>



<グループ②>

ふりかえりシート 地区防災計画策定用		実施日 _____	地区 _____	グループ _____	②
① 大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？		② 地区固有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？			
<p>① 津波(15m)</p> <p>② 土砂災害</p> <p>③ 液状化</p> <p>④ 火災</p> <p>⑤ 家屋の倒壊(非耐震)</p>		<p>【強み】</p> <p>組の人のつながりがある。</p> <p>【弱み】</p> <p>高齢化率が高い</p> <p>高台へ避難の道が短い。</p>			
③ それらに対する防災上の課題はなんですか？		④ 課題に対して、共助として何ができますか？			
<p>高齢化により自助・共助が難しい。</p> <p>避難が早い。避難場所が整備されている。</p> <p>命を守れない。</p> <p>避難経路が短い。</p>		<p>① 避難タワーの設置(各町内に1箇所)</p> <p>② バイパスへの避難階段設置</p> <p>③ 避難道路の整備</p>			

<ふりかえりシート>

大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？
<ul style="list-style-type: none"> 津波(15m)、土砂災害 液状化、火災、家屋の倒壊(非耐震住宅)
地区特有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？
<p>(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人(組)のつながりがある <p>(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が高い 高台へ避難する際に経路が塞がれている可能性がある
それらに対する防災上の課題は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により自助・共助が機能しづらい 避難場所はあるが、土砂災害により経路が塞がれ命が守れない可能性がある
課題に対して、共助として何ができますか？
<ul style="list-style-type: none"> 津波避難タワーの整備(各町内に1箇所)が必要 バイパスへの避難階段設置 避難に係る道路整備

7. 参考資料

令和7年度「白須賀第2自主防災会」覚え書き

役員構成

- ◎役員：自治会長、副自治会長、自主防災委員(5名)、町内会長(5名)、
婦人部長(1名)、保健推進員(1名)、保健推進協力員(1名)
- 会長：自治会長 副会長：副自治会長
 - ◇災害発生時における応急活動(緊急対応)及び平常時の防災活動の指揮を行う。
- 防災委員(代表1名、委員4名)
 - ◇委員代表を中心に、災害発生時における応急活動(緊急対応)及び平常時の防災倉庫内の備蓄資機材の点検、始動確認などの防災活動を行う。
- 防災関係者 町内会長5名、婦人部長1名、保健推進員1名、保健推進協力員1名
 - ◇災害発生時における応急活動(緊急対応)及び防災訓練の実施指導に従事する。

以上15名には、自主防災活動の運営に従事するための防災ヘルメットを貸与する。

防災倉庫の点検と資機材一覧

- ◎資材の数量：裏面の通り(防災倉庫点検簿)
- ◎防災委員代表は、年度当初に隔月を目処に点検日の予定を定める。
 - ◇防災訓練を踏まえた年間計画とする。
 - ①4月(役員引継ぎを兼ねた点検の仕方と当番の確認)⇒正副自治会長・町内会長の立ち会い
 - ②6月(当番の防災委員)⇒自治会長の立ち会い
 - ③8月(防災訓練の準備と打合せ)⇒正副自治会長の立ち会い
 - ④10月(当番の防災委員)⇒副自治会長の立ち会い
 - ⑤11月(12月の地域防災訓練の準備と打合せ)⇒正副自治会長の立ち会い
 - ⑥3月(新旧自主防災委員引継ぎ)⇒令和7・8年度正副自治会長の立ち会い

防災訓練

※実施内容や方法などについては、正副自治会長、自主防災委員などの関係者で協議する。

- ◎9月⇒2区の地区民による訓練(訓練場所は未定)
- ◎12月⇒2区の地区民による訓練(訓練場所は未定)
- ◎3月11日⇒2区の地区民による訓練(訓練場所：各町内の津波避難場所)

資料

白須賀第2自主防災会・防災倉庫点検簿

◇点検実施者

役職 _____ 氏名 _____

役職 _____ 氏名 _____

区分	品目	数量	品目	数量
情報伝達用具	電池メガホン	2	衛星携帯電話(会密)	1
初期消火用具	粉末消火器	0	バケツ	33
	砂袋	500	可搬ポンプ (移動式1・固定式1)	2
	ホース	16		
救出用具	バール	6	梯子(はしご・脚立)	2
	のこぎり	3	斧・なた	4
	スコップ	10	つるはし	6
	くわ	3	箕(み・竹み)	6
	ペンチ・プライヤー	2	鉄線はさみ	2
	大ハンマー・掛矢	7	一輪車	3
	ロープ(200m)	3	投光器	2
	リヤカー	0	ジャッキ	3
	チェーンソー	2	担架(竹担架含む)	2
	救急セット(日付確認)	1		
救護用具	強力ライト(懐中電灯) ※(防災倉庫6・可搬ポンプ小屋1)	7	発電機 テンヨー GA-1606U2	2
避難生活用具	コードリール	2	鍋2・ハソリ3	5
	受水槽	3	テント	1
	ビニールシート(フルシート)	104	燃料(薪・ガソリン・混合油) ※残量確認	○
	トイレ関係	0	毛布	2
その他(報告敷材外)	プロアー	1	噴霧器	1
	缶詰パン(非常食)			

◇始動点検等 ※倉庫は貸与資機材(旧消防小屋は2区所有物・土地は市所有物)

点検品	点検状況(○付け)	点検記録
可搬ポンプ(貸与資機材)	良 ・ 修理	
発電機(貸与資機材)	良 ・ 修理	
チェーンソー	良 ・ 修理	
プロアー	良 ・ 修理	
電池メガホン	良 ・ 修理	
懐中電灯	良 ・ 修理	

◇その他(点検で気づいたこと)

令和7年度 白須賀第2自主防災会 防災倉庫の点検等実施計画

点検実施日時	点検担当者	備 考
4月6日(日) 9:00~ ☆点検①	正副自治会長(自主防災会長・副会長)・町内会長5名 自主防災委員5名	年度初めの点検 ◇点検の仕方の確認・当番
6月8日(日) 9:00~ ☆点検②	自治会長(自主防災会長) 自主防災代表委員 自主防災委員(元町東・宮本)	9/1「総合防災訓練」の内容について(猛暑対策・平日実施)
8月24日(日) 9:00~ ☆点検③	正副自治会長(自主防災会長・副会長) 自主防災委員5名	防災訓練の準備と打合せ
9月1日(月) 8:00~ ◇防災訓練①	正副自治会長(自主防災会長・副会長)、町内会長5名、婦人部長、自主防災委員5名、消防団、保健推進員、保健推進協力員 中学生・高校生・地区住民	総合防災訓練(事前周知なし) ◇8時地震発生・訓練開始 ◇とぴあ浜松農業協同組合 元町集出荷場(避難場所・訓練場所とする)
10月26日(日) 9:00~ ☆点検④	自治会長(自主防災会長) 自主防災代表委員 自主防災委員(元町中・坂下)	12/1「地域防災訓練」の内容について
11月30日(日) 9:00~ ☆点検⑤	正副自治会長(自主防災会長・副会長)・自主防災委員5名	防災訓練の準備と打合せ
12月7日(日) 9:00~ ◇防災訓練②	正副自治会長(自主防災会長・副会長)、町内会長5名、自主防災委員5名、婦人部長、消防団、保健推進員、保健推進協力員 中学生・高校生・地区住民	地域防災訓練(事前周知なし) ◇8時地震発生・訓練開始 ◇とぴあ浜松農業協同組合 元町集出荷場(避難場所・訓練場所とする)
3月11日(水)19:00~ ◇防災訓練③	正副自治会長(自主防災会長・副会長)・町内会長5名 自主防災委員5名・消防団	夜間防災訓練・サイレン(同報無線) ◇各地区の避難場所(高台)に避難する。
3月22日(日) 9:00~ ☆点検⑥	令和7・8年度正副自治会長(自主防災会長・副会長) 令和7・8年度自主防災委員8名	◇新旧自主防災委員引き継ぎ会

令和7年度白須賀第2自主防災会役員

役 職	町内	氏 名	電話番号	住 所	備 考
自主防災会長	元町東				
副会長	宮本				
自主防災代表委員	汐見坂				
自主防災委員	元町東				
	宮本				
	元町中				
	坂下				

令和7年9月1日（月） 地域防災訓練（想定：地震・津波）スケジュール

白須賀第2自主防災会

	時間	訓練名	担当者	訓練内容
第一部	8:30		正副自治会長 自主防災委員	○機材や準備物等をJA元町集出荷場へ搬入する。 飲料水100本、ごみ袋10枚、ブルーシート5枚、救急箱、三角巾、ビニール手袋、ハンドマイク、消毒用アルコール、毛布、竹竿、筆記具
	9:00 (発災)～ 9:30	避難誘導	町内会長 町内会組長	○各地区避難場所（高台避難地）へ避難誘導する。（避難場所として白須賀中学校への避難はしない。） ・避難行動への配慮⇒要支援者宅へ確認（安全確認カード等）〈申請者7名〉 ○津波襲来後にJA元町集出荷場に集合する。（9:30）
第二部	9:30 (集荷場前)	受付 救護の仕方 救助の仕方 簡易トイレ の設置の仕方	町内会長 婦人部組長 町内会組長 保健推進員 保健推進協力員	○人数確認をする。（中学生の参加への対応を行う。）⇒【準備物】：ハンドマイク、筆記具 【配布物】：参加者に飲料水と乾パンを配布する。 ○応急手当の仕方（三角巾）、簡易担架の組み立てと使用経験 ・中学生の参加あり ○簡易トイレの設置の仕方
	9:30～	消火訓練 機材の操作	自主防災委員 消防団第3分団 員（指導）	○消火訓練：水消火器による消火器の操作の仕方（水消火器10本） ○チェーンソー、発電機、プロア一等の機材操作。 ※訓練や機材操作には中学生の参加あり。
	10:30終了			
	解散後 11:00～	備品及び 消耗品の点 検	自主防災委員	○備品、機材等の点検 ○ガソリン、混合油等の残量確認及び補充 ※消防団との協力、中学生の参加

令和7年12月7日（日） 地域防災訓練（想定：地震・津波）スケジュール 白須賀第2自主防災会

	時間	訓練名	担当者	訓練内容
第一部	7:30		正副自治会長 自主防災委員	○機材や準備物等をJA元町集出荷場へ搬入する。 飲料水100本（湖西市より支給）、ごみ袋10枚、ブルーシート5枚、救急箱、三角巾、ビニール手袋、ハンドマイク、消毒用アルコール、簡易コンロ、ボンベ、鍋、ひしゃく、寸胴（水入り）、アルファ米50食×2箱、筆記具
	8:00 （発災）～ 8:30	避難誘導	町内会長 町内会組長	○各地区高台避難地へ避難誘導する。（避難場所として白須賀中学校への避難はしない。） ・避難行動への配慮⇒要支援者宅へ確認（安全確認カード等）〈申請者5名〉 ○津波襲来後にJA元町集出荷場に集合する。（8:30）
第二部	8:30 （集荷場前）	受付	町内会長	○人数確認をする。（中高生の参加への対応を行う。）⇒【準備物】：ハンドマイク、筆記具 【配給物】：参加者に飲料水と乾パンを配給する。
		救護の仕方	保健推進員 保健推進協力員	○応急手当の仕方（三角巾）
		炊き出し	婦人部組長	○アルファ米の配給（100食）⇒湯を沸かし、アルファ米の箱に注ぐ。【準備物】はし、パック、輪ゴム、レジ袋、ビニール手袋、ひしゃく、しゃもじ等を使用する。
	8:30～ 9:30終了	消火訓練 機材の操作	自主防災委員 消防団第3分団員（指導）	○水消火器による消火訓練。（10本） ○消火ホースの連結訓練。 ○チェーンソー、発電機、プロアー等の機材操作。 ※訓練や機材操作には中高生の参加あり。
	解散後 10:00～	備品及び 消耗品の点検	自主防災委員	○備品、機材等の点検 ○ガソリン、混合油等の残量確認及び補充 ※消防団との協力、中高生の参加

白須賀第2地区防災計画

令和8年2月策定

白須賀第2自治会・自主防災会